

PRESS RELEASE

2022年4月25日

「**バンダイ災害時子ども応援活動**」を開始

セーブ・ザ・チルドレンと協力し、被災地での子どもの心のケアを目的におもちゃを開発

株式会社バンダイ(本社:東京都台東区 代表取締役社長:竹中一博)は、災害時の子ども支援や、おもちゃを通じた心のケアと、防災時の心得等の啓発を目的としたサステナビリティ活動を開始します。

本活動は、被災した多くの子どもたちがストレスを抱えていることや、被災地での子どもの心のケアへのサポートが十分に行き届いていないという現状を知った社員のアイデアをきっかけに誕生しました。そして、災害の現場で求められる適切な支援や、防災の啓発を実施するため、子ども支援活動の専門家である公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン(本部:東京都千代田区 理事長:井田純一郎)協力のもと、被災地のニーズに関する情報や、支援の内容に関するアドバイス・サポートを受け準備を進めています。

当初の活動は、被災地という慣れない環境下で不安やストレスが募る子どもたちのために、オリジナルの「避難生活下でも遊べるおもちゃ」を企画・製造し、セーブ・ザ・チルドレンが災害発生時に支援品として現地に届ける「緊急子ども用キット^{※1}」に同梱して提供します。

また今後は被災地の状況やニーズを確認しつつ、現地受け入れが可能な場合には、セーブ・ザ・チルドレンが被災地で行う支援活動「こどもひろば^{※2}」とともに、「ガシャポン[®]」の自販機を積んだ「ガシャポントラック」の派遣を検討しているため、オリジナルのおもちゃはカプセルトイとして企画しています。

※1: 詳細次頁 ※2: 詳細三頁



Save the Children



バンダイは長年おもちゃの企画・製造を行ってきたノウハウなどを生かし、予期せぬ災害により不安や困難に晒される子どもたちが少しでも早く笑顔を取り戻すための支援活動や防災の啓発活動を、被災地支援を行っている団体や各自治体と協力し継続的に行ってまいります。

◆セーブ・ザ・チルドレン「緊急子ども用キット」について

セーブ・ザ・チルドレンは、緊急時の子どもの基本的ニーズを守るために、衛生用品と防災用ホイッスル、文具などが入った「緊急子ども用キット」を準備して備蓄しています。過去の災害支援活動を通して、避難所が開設されても、子どものニーズに特化した物資が揃うまでには時間がかかることから、セーブ・ザ・チルドレンでは平時から「緊急子ども用キット」を準備し、初動支援で必要な子どもたちへ提供しています。2022年7月以降に提供される「緊急子ども用キット」には、避難先で子どもが必要になる衛生用品に加え、避難所などの限られたスペースの中でも子どもが遊べるよう、折り紙やトランプなども入れています。今回、バンダイの子ども支援活動への想いと合致し、バンダイがオリジナルで企画・製造したおもちゃも同梱する運びとなりました。

セーブ・ザ・チルドレンの長年の国内緊急対応活動から得た知見によるアドバイスを基に、バンダイが企画・製造したおもちゃが同梱された「緊急子ども用キット」は、今後、災害時に必要な子どもたちへ提供される予定です。

▼「緊急子ども用キット」イメージ



【バンダイの支援品について】

避難生活の中で、子どもに寄り添う「話し相手」、「仲間」として子どもたちに安らぎを与えられるよう、オリジナルキャラクターを用いた2つのおもちゃを企画しました。

① 空気ビニール人形

空気を入れて膨らませて遊ぶ人形です。狭い避難所生活の空間でも空気を抜けば邪魔にならず、クッション性もあるため安心して遊んでいただけます。



② スクイズ人形

手のひらサイズで場所を取らずに遊べ、ぎゅっと握ることでストレス解消にもなる柔らかさの人形です。



◆オリジナルキャラクター「おとどけ！コロコロパワーズ！」



▲左から かえる、ねこ、いぬ、うさぎ、ふくろう、しか、てんとうむし



子どもたちを応援するために生まれたバンダイオリジナルのキャラクターです。古来より「幸せを呼ぶ」などとして親しまれている「いきもの」をモチーフにしました。ガシャポンのカプセルを身にまとい、「カプセルを閉じて身を守り、転んでも起き上がることができるように」という思いが込められています。

コロコロパワーズ！は、バンダイの「防災ナビゲートキャラクター」として、災害時の対応などを子どもたちにわかりやすく伝える存在として登場していきます。

【セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン ご担当者様コメント】



セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン

国内事業部 緊急・防災チーム

赤坂 美幸様

2011年よりセーブ・ザ・チルドレン・ジャパンのスタッフとして東日本大震災の緊急・復興支援に従事。現在、国内事業部 緊急・防災チームのマネージャーとして災害時における子ども・養育者のための緊急支援・防災活動を担当している。

地震や津波、集中豪雨、洪水など、突然の災害により子どもたちの生活は一変します。安心して安全に生活できる環境、心身の健康的な発達、遊び、学び、家族や友だちとの時間など、さまざまな子どもの権利が脅かされ、子どもも大人と同じように精神的苦痛を抱えます。

しかし、多くの子どもは困難を乗り越える力を持っています。セーブ・ザ・チルドレンは、衣食住に対する緊急支援活動に加え、子どもが安心して安全に遊び、過ごすことができる空間「こどもひろば」の開設・運営を行います。災害の影響を受けた子どもにとって「遊び」は、日常を取り戻し、健全な心身の発達とこころの安定、子どもの潜在能力の促進をサポートするために重要であり、長期的に見てもその意義は大きいと考えます。

■支援品について

バンダイが企画・製造した支援用のおもちゃは、今後必要としている人・場所により多くお届けできるよう、被災地応援をしている団体や自治体などの備蓄品への提供を積極的に行ってまいります。

【支援団体・自治体関係者からのお問い合わせ】

株式会社バンダイ プロダクトマネジメント部 サステナビリティ窓口 csr-info@bandai.co.jp

株式会社バンダイ公式サイト <https://www.bandai.co.jp/>

株式会社バンダイ CSRサイト <https://www.bandai.co.jp/csorkids/whatscsr/>

バンダイ・BANDAI SPIRITS広報公式Twitter https://twitter.com/bandai_spirits

※プレスリリースの内容は 2022年4月25日時点のものであり、予告なく変更する場合があります。

※「ガシャポン」はバンダイの登録商標です。